

いじめ事案の指導の流れ

岐阜市立長森中学校

【定期的な情報収集による個と集団の把握】

- ・ 毎日の生活記録、生徒の観察
- ・ 年間 6 回のアンケート
- ・ 年間 3 回の教育相談週間

- ・ 本人、保護者からの訴え
- ・ 生徒からの情報
- ・ 教師の目撃

さしすせそ
最悪を想定して
慎重に
素早く
誠意をもって
組織的に対応する

いじめの疑いのある情報…つかんだ職員

学年主任・学級担任・生徒指導主事・いじめ対策監・養護教諭

いじめ対策監支援本部
→ 直ちに市教委に報告

情報収集・共有、事実確認

いじめ対策チームの組織
関係職員を召集組織的対応
(流れ・役割)

校長
教頭

- ・ 情報元の生徒から
- ・ 被害者の所属集団から
- ・ 教育相談状況から
- ・ 教職員から
- ・ アンケートから
- ・ 小学校や関係機関から
- ・ 保護者から

- ・ 複数人に対応
- ・ すり合わせをしながら何度も

被害者から

加害者から

共感的に

全容把握

支援本部
↓
市教委等へ

最優先で対応
・ 複数で聞き取り
・ 事実特定までは聴取に徹する

支援

校長
教頭

指導

安全確保、不安の払拭

行為の裏にある意識に迫る

被害保護者へ

加害保護者へ

学級担任が
各家庭へ連絡

- ・ 学校管理下での事案に対する謝罪
- ・ 概要説明（電話/家庭訪問）
- ・ 指導の経緯、今後の方針（家庭訪問）

- ・ 概要説明（電話）
- ・ 来校依頼、学校で指導の経緯、今後の指導方針、保護者の困り感への寄り添い

生徒・保護者への指導後、支援本部へ「収束」報告・関係機関との連携

継続的・組織的支援

指導・支援記録の整理・保管・共有・引継ぎ

校長、教頭、生徒指導主事（いじめ対策監）、学年主任、学級担任による継続的な見届け
＝経過観察、本人との面談や周囲への聞き取り、保護者への定期的な情報提供と聞き取り